

第1学年 英語科 1年間の学習と評価について

春日部市立豊春中学校

1. 学習目標

自己紹介のスピーチができる

家族や友達、あこがれの人などを紹介するスピーチができる

写真について説明する文章を書くことができる

手紙が書けるようになる

自分の好きなものや大切なものについてスピーチができるようになる

2. 年間の授業計画と学習のねらい

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	Get Ready Program1 Word Web(数の言い方) Program2 Word Web(曜日、天気の違い) Program3 パフォーマンス活動 Power-Up Program4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを友達に知ってもらう。(一般動詞、疑問文) ・アルファベットの形と発音 ・be 動詞(肯定、否定、疑問)/Where の疑問文を理解する。 ・数字、年齢、電話番号、値段を理解できる。 ・一般動詞(肯定、否定、疑問)/複数形/when の疑問文を理解する。 ・自分の好きなものを相手に正しく伝える ・can(肯定、否定、疑問)/what の疑問文を理解し「誰でしょうクイズ」を作成する。 ・自己紹介文を作成し、スピーチをする。 ・ファストフード店で買い物をするときの表現を用いて会話する。
2 学期	Program5 Word Web(季節、月の名前) Program6 Power-Up Program7 Steps パフォーマンス活動 Power-Up Program8 Steps	<ul style="list-style-type: none"> ・3人称単数・現在(肯定、否定、疑問)の文を理解し、アメリカの学校生活について理解する。 ・him/her/why の疑問文、Because～.の文を理解する。 ・道案内の表現を用いて、会話をする。 ・There is(are)～./how の疑問文を理解する。 ・スピーチの構成をする。英語でやり取りをする。 ・既習文を用いて、他人紹介をする。 ・インタビューのディクテーションをする。 ・現在進行形(肯定、否定、疑問)の文を理解する。 ・絵や写真について英語で表現する。
3 学期	Program9 Program10 パフォーマンス活動	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形(肯定、疑問、否定)の文を理解する。 ・be 動詞の過去形、過去進行形(肯定、疑問、否定)の文を理解する。 ・既習文を用いて、スピーチを行う。

3. 評価の観点と方法

【知識・技能】

小テストや課題テスト、定期テスト、学力検査、ワークシート等で評価します。実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身につけている状況を評価します。

【思考・判断・表現】

ワークシート・小テスト・パフォーマンステスト・定期テスト・学力検査・リスニング問題等で評価します。既習の単語や英文の意味を正しく理解しているか、教科書や問題文など、まとまった内容の英文を正しく理解できているかが評価の観点になります。

学んだ単語や文章を用いて、伝えたい内容を表現することができるかが評価のポイントになります。

【主体的に学習に取り組む態度】

提出物、発言・行動、小テスト、レポート作成等で評価します。外国の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況を評価します。